

第3章 導入例

3

3

この章では、
本装置の代表的な接続形態のいくつかを紹介します。

事業所LAN どうしをISDNで接続する	104
東京事業所の本装置を設定する	105
川崎事業所の本装置を設定する	109
事業所LANを専用線で接続する	111
本社の本装置を設定する	112
支店の本装置を設定する	115
複数プロバイダと端末型接続する	116
インターネットとLANに同時接続する	120
外部のパソコンと接続する (TA&PHS)	125
OCNエコノミーと接続する	131

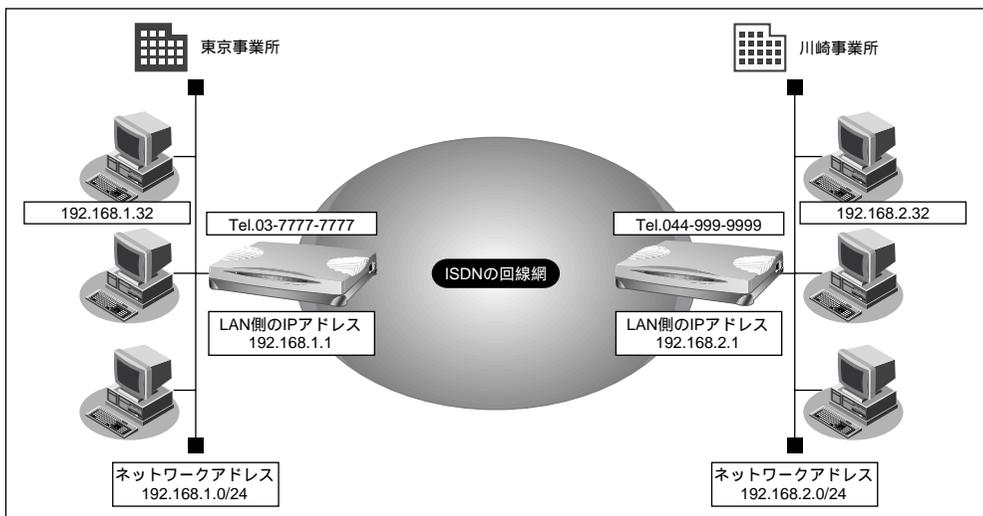
事業所LAN どうしをISDNで接続する

ここでは、ISDN回線を介して2つの事業所（東京、川崎）のネットワークを接続する場合を例に説明します。

こんな事に気をつけて

この例は、ご購入時の状態からの設定例です。以前の設定が残っていると、設定例の手順で設定できなかったり手順どおり設定しても通信できないことがあります。

☛ 参照 「ご購入時の状態に戻すには」(P.554)



設定条件

- ISDN回線を使用する
- DHCPサーバ機能は使用する
- アドレス変換機能を使用しない
- スタティックルーティング機能を使用する

【東京事業所】

- 電話番号 : 03-7777-7777
- ユーザ認証IDとユーザ認証パスワード
 - 発信 : tokyo、tokyopass
 - 着信 : kawasaki、kawapass
- 本装置のLAN側のネットワークアドレス/ネットマスク : 192.168.1.0/24

[川崎事業所]

- 電話番号 : 044-999-9999
- ユーザ認証IDとユーザ認証パスワード
 発信 : kawasaki、kawapass
 着信 : tokyo、tokyopass
- 本装置のLAN側のネットワークアドレス/ネットマスク : 192.168.2.0/24

こんな事に気をつけて

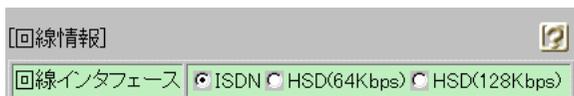
文字入力フィールドでは半角文字(0~9、A~Z、a~z、および記号)だけを使用してください。ただし、空白文字、「”」 「<」 「>」 「&」 「%」は入力しないでください。入力した場合、ブラウザでの設定が不可能となります。

詳細については、「付録 文字入力フィールドに入力できる文字一覧 (P.600)」を参照してください。

3

東京事業所の本装置を設定する**回線接続情報(東京事業所)を設定する**

1. 詳細設定メニューのルータ設定で「回線情報」をクリックします。
 「回線情報設定」ページが表示されます。
2. [回線情報] で以下の項目を指定します。
 - 回線インタフェース ISDN



必要に応じて上記以外の項目を設定します。

3. [更新] ボタンをクリックします。

LAN 情報（東京事業所）を設定する

1. 詳細設定メニューのルータ設定で「LAN 情報」をクリックします。
「LAN 情報設定」ページが表示されます。

2. [IPアドレス] で以下の項目を指定します。

- IPアドレス 192.168.1.1（本装置のLAN側のIPアドレス）
- ネットマスク 24
- ブロードキャストアドレス ネットワークアドレス+オール1

[IPアドレス]	
IPアドレス	192 . 168 . 1 . 1
ネットマスク	24 (255.255.255.0)
ブロードキャストアドレス	ネットワークアドレス+オール1

3. [DHCP 機能] で以下の項目を指定します。

- DHCP サーバ機能 使用する

[DHCP機能]		
DHCPサーバ機能	<input type="radio"/> 使用しない <input checked="" type="radio"/> 使用する	
	割当て先頭IPアドレス	192 . 168 . 1 . 2
	割当てアドレス数	32
	リース期間	1 日
	デフォルトルータ広報	192 . 168 . 1 . 1
	DNSサーバ広報	192 . 168 . 1 . 1
	セカンダリDNSサーバ広報	
	ドメイン名広報	
<small>※“割当て先頭アドレス”がSH-R30のIPアドレスと同じネットワークアドレス内であることを確認してください。</small>		

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

3. [更新] ボタンをクリックします。

接続先の情報（川崎事業所）を設定する

1. 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。
「相手情報設定」ページが表示されます。

2. [ネットワーク情報一覧] で [追加] ボタンをクリックします。
「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。

3. [基本情報] で以下の項目を指定します。

- ネットワーク名 kaisya (接続するネットワークの名称)
- 自動ダイヤル する

[基本情報]	
ネットワーク名	kaisya
ヘッダ圧縮	<input checked="" type="checkbox"/> WJ
WAN側IPアドレス	<input type="radio"/> 設定しない <input type="radio"/> 設定する
	相手IPアドレス <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 自側IPアドレス <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
MTUサイズ	1500 バイト
自動ダイヤル ISDN	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない

[NAT 情報] で以下の項目を指定します。

- NAT の使用 使用しない

[NAT情報]	
NATの使用	<input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> NAT <input type="radio"/> マルチNAT

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

4. [接続先一覧] で [追加] ボタンをクリックします。

「このページの情報が変更されています。更新しますか?」というメッセージが表示されたら [OK] ボタンをクリックします。

「接続先情報設定」ページが表示されます。

5. [基本情報] で以下の項目を指定します。

- 接続先名 kawasaki
- ダイヤル1
 電話番号 044-999-9999

[基本情報]	
接続先名	kawasaki
ダイヤル1	電話番号 <input type="text"/> 044-999-9999
	サブアドレス <input type="text"/>
	相手種別 <input type="text"/> ISDN

[発信情報] で以下の項目を指定します。

- 送信認証情報
送信認証 ID tokyo
認証パスワード tokyopass

[発信情報]	
送信認証情報	送信認証ID <input type="text" value="tokyo"/>
	認証パスワード <input type="password" value="*****"/>

[着信情報] で以下の項目を指定します。

- 着信許可 する
- 受諾認証情報
認証 ID kawasaki
認証パスワード kawapass

[着信情報]	
着信許可	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない
受諾認証情報	認証ID <input type="text" value="kawasak i"/>
	認証パスワード <input type="password" value="*****"/>

[発信者番号識別による着信情報] で以下の項目を指定します。

- 発信者番号による識別 番号チェックをする

[発信者番号識別による着信情報]	
発信者番号による識別	<input type="radio"/> 番号チェックをしない <input checked="" type="radio"/> 番号チェックをする

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

6. [更新] ボタンをクリックします。
「ネットワーク情報設定」ページに戻ります。
7. [スタティックルーティング情報一覧] で [追加] ボタンをクリックします。
「ルーティング情報設定」ページが表示されます。

接続先の情報（東京事業所）を設定する

「ネットワーク情報設定」

[基本情報]

- ネットワーク名 kaisya（接続するネットワークの名称）
- 自動ダイヤル する

[NAT 情報]

- NAT の使用 使用しない

「接続先情報設定」

[基本情報]

- 接続先名 tokyo
- ダイヤル1
電話番号 03-7777-7777

[発信情報]

- 送信認証情報
送信認証 ID kawasaki
認証パスワード kawapass

[着信情報]

- 着信許可 する
- 受諾認証情報
認証 ID tokyo
認証パスワード tokyopass

「ルーティング情報設定」

- ネットワーク
宛先 IP アドレス ネットワーク指定
宛先 IP アドレス 192.168.1.1（接続先となる本装置の IP アドレス）
宛先アドレスマスク 24（接続先となる本装置のアドレスマスク）
- メトリック値 1

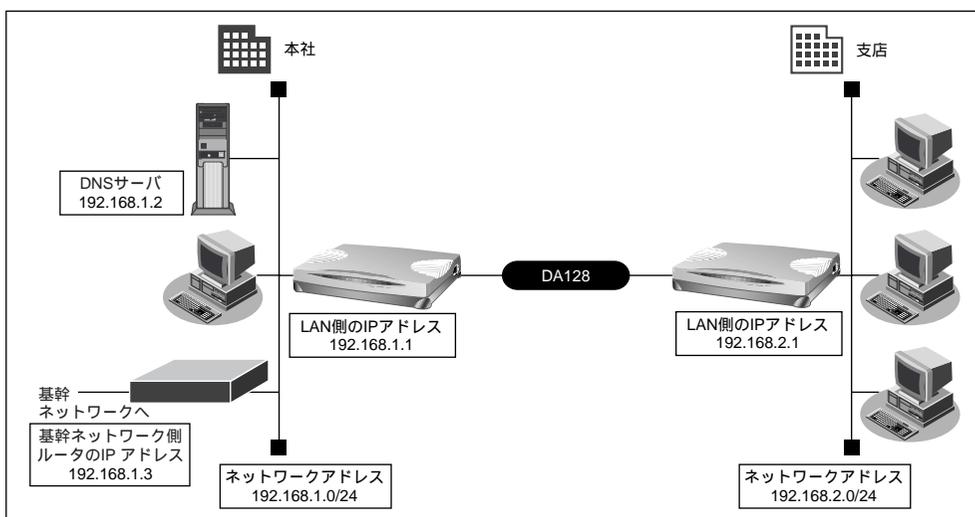
事業所 LAN を専用線で接続する

ここでは、高速デジタル専用線（DA128）を介して2つの事業所（本社、支店）のネットワークを接続する場合を例に説明します。

こんな事に気をつけて

この例は、ご購入時の状態からの設定例です。以前の設定が残っていると、設定例の手順で設定できなかったり手順どおり設定しても通信できないことがあります。

☛ 参照 「ご購入時の状態に戻すには」(P.554)



設定条件

- 専用線（128Kbps）を使用する

【本社】

- Si-R30のIPアドレス : 192.168.1.1
- LAN側のネットワークアドレス/ネットマスク : 192.168.1.0/24
- DHCPサーバ機能は使用しない
- アドレス変換機能は使用しない
- DNSサーバ : 192.168.1.2
- 基幹ネットワーク側ルータのIPアドレス : 192.168.1.3

【支店】

- Si-R30のIPアドレス : 192.168.2.1
- LAN側のネットワークアドレス/ネットマスク : 192.168.2.0/24



この例では、本社にDNSサーバが存在しIPアドレスを固定にする必要があるため、本社側ではDHCPサーバ機能は使用しない条件にしました。

こんな事に気をつけて

文字入力フィールドでは半角文字(0~9、A~Z、a~z、および記号)だけを使用してください。ただし、空白文字、「」、「<」、「>」、「&」、「%」は入力しないでください。入力した場合、ブラウザでの設定が不可能となります。
詳細については、「付録 文字入力フィールドに入力できる文字一覧 (P600)」を参照してください。

本社の本装置を設定する

回線情報 (本社) を設定する

1. 詳細設定メニューのルータ設定で「回線情報」をクリックします。
「回線情報設定」ページが表示されます。
2. [回線情報] で以下の項目を指定します。
 - 回線インタフェース HSD (128Kbps)

3. [更新] ボタンをクリックします。

LAN 情報 (本社) を設定する

1. 詳細設定メニューのルータ設定で「LAN 情報」をクリックします。
「LAN 情報設定」ページが表示されます。
2. [IP アドレス] で以下の項目を指定します。
 - IP アドレス 192.168.1.1 (本装置のLAN側のIPアドレス)
 - ネットマスク 24
 - ブロードキャストアドレス ネットワークアドレス + オール1

[DHCP 機能] で以下の項目を指定します。

- DHCP サーバ機能 使用しない

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

3. [スタティックルーティング情報一覧] で [追加] ボタンをクリックします。

「このページの情報が変更されています。更新しますか?」というメッセージが表示されたら [OK] ボタンをクリックします。

「ルーティング情報設定」ページが表示されます。

4. 以下の項目を指定します。

- ネットワーク デフォルトルート
 中継ルータアドレス 192.168.1.3 (基幹ネットワーク側 IP アドレス)
- メトリック値 1

5. [更新] ボタンをクリックします。

接続先の情報を設定する

1. 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。
「相手情報設定」ページが表示されます。
2. [ネットワーク情報一覧]で[追加]ボタンをクリックします。
「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。
3. [基本情報]で以下の項目を指定します。
 - ネットワーク名 Siten1 (接続するネットワークの名称)

[基本情報]	
ネットワーク名	Siten1

[NAT 情報]で以下の項目を指定します。

- NAT の使用 使用しない

[NAT情報]	
NATの使用	<input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> NAT <input type="radio"/> マルチNAT
グローバルアドレス	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
アドレス個数	<input type="text"/> 個
アドレス割当てタイム	<input type="text"/> 時間
NATセキュリティ	<input checked="" type="radio"/> 通常 <input type="radio"/> 高い

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

4. [スタティックルーティング情報一覧]で[追加]ボタンをクリックします。
「このページの情報が変更されています。更新しますか?」というメッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。
「ルーティング情報設定」ページが表示されます。
5. 以下の項目を指定します。
 - ネットワーク ネットワーク指定
宛先 IP アドレス 192.168.2.1 (接続先の IP アドレス)
宛先アドレスマスク 24 (接続先のアドレスマスク)
 - メトリック値 1

[ルーティング情報設定]	
ネットワーク	<input type="radio"/> デフォルトルート
	<input checked="" type="radio"/> ネットワーク指定
	宛先IPアドレス 192 . 168 . 2 . 1
宛先アドレスマスク	24 (255.255.255.0)
メトリック値	1

6. [更新] ボタンをクリックします。
「ネットワーク情報設定」ページに戻ります。
7. [更新] ボタンをクリックします。
「相手情報設定」ページに戻ります。
8. [更新] ボタンをクリックします。
9. [再起動] ボタンをクリックします。
設定した内容が有効になります。

支店の本装置を設定する

「かんたん設定 (インターネットへ専用線接続)」で設定する

[必須設定]

- Si-R30のIPアドレス 192.168.2.1 (本装置のLAN側のIPアドレス)
- Si-R30のネットマスク 24
- 使用する回線速度 128Kbps
- DNSサーバ 192.168.1.2

[オプション設定]

- 接続ネットワーク名 kaisya (接続するネットワークの名称)
- アドレス変換 使用しない



「かんたん設定 (インターネットへ専用線接続)」の省略値ではデフォルトルートを設定しません。また、「かんたん設定 (オフィスへ専用線接続)」の省略値では相手ルータのIPアドレスとネットマスクを元にスタティックルートを設定します。この設定例では本社のネットワーク内に基幹ネットワークにつながるルータが存在します。このため本社側への経路をデフォルトルートとする必要があります。それでここでは「かんたん設定 (インターネットへ専用線接続)」を使用しています。ただし、この場合DHCPサーバが動作するので、DHCPサーバ機能を使用しない場合は「詳細設定」で設定を変更してください。本社のネットワークに基幹ネットワークにつながるルータが存在しない場合は、「かんたん設定 (オフィスへ専用線接続する)」で設定できます。

- 参照 「かんたん設定 (インターネットへ専用線接続)」の省略値について (P.80)、「かんたん設定 (オフィスへ専用線接続)」の省略値について (P.89)

複数プロバイダと端末型接続する

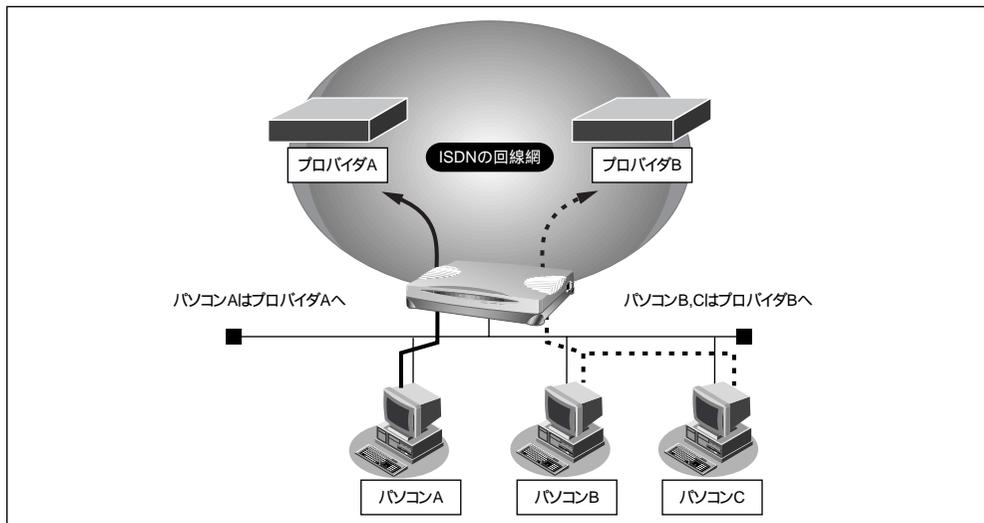
「マルチルーティング（ソースアドレスルーティング）機能」を使うと、パソコンのIPアドレスごとに接続先を変えることができます。

ここでは、パソコンが複数あって、それぞれのパソコンが別のプロバイダに加入しているような場合、本装置の「マルチルーティング（ソースアドレスルーティング）機能」を使って、それぞれ自分が加入するプロバイダに接続する場合を例に説明します。

こんな事に気をつけて

この例は、ご購入時の状態からの設定例です。以前の設定が残っていると、設定例の手順で設定できなかったり手順どおり設定しても通信できないことがあります。

☛ 参照 「ご購入時の状態に戻すには」(P.554)



設定条件

- ISDN回線を使用する
- パソコンAはプロバイダA（ISP-A）へ接続する
- パソコンA以外はプロバイダB（ISP-B）へ接続する
- プロバイダA（ISP-A）の接続先 : 03-2222-1111
- パソコンAのIPアドレス : 192.168.1.2/32
- マルチNATを使用する

こんな事に気をつけて

文字入力フィールドでは半角文字(0～9、A～Z、a～z、および記号)だけを使用してください。ただし、空白文字、「」、「<」、「>」、「&」、「%」は入力しないでください。入力した場合、ブラウザでの設定が不可能となります。
詳細については、「付録 文字入力フィールドに入力できる文字一覧(P600)」を参照してください。

かんたん設定で基本的な設定を行う

1. かんたん設定のインターネットへの「ISDN接続」でプロバイダBの設定を行います。

☛ 参照 「かんたん設定」で設定する(インターネットへISDN接続のとき)(P.69)

詳細設定でプロバイダAの情報を追加する

1. 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。
「相手情報設定」ページが表示されます。
2. [ネットワーク情報一覧]で「internet」欄の[修正]ボタンをクリックします。
「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。
3. [接続先一覧]で[追加]ボタンをクリックします。
「接続先情報設定」ページが表示されます。
4. プロバイダAの情報を指定します。

[基本情報]で以下の項目を指定します。

- 接続先名 ISP-A (プロバイダAの名称)
- ダイヤル1
 電話番号 03-2222-1111
 (プロバイダAより提示された接続先の電話番号)

[基本情報]	
接続先名	ISP-A
ダイヤル1	電話番号 03-2222-1111
	サブアドレス
	相手種別 ISDN

[マルチルーティング] で以下の項目を指定します。

- ローカルホストIPアドレス 192.168.1.2 (パソコンAのIPアドレス)
- アドレスマスク 32

補足 この例では対象となるパソコンが1台のため、255.255.255.255となります。IPアドレスとアドレスマスクを組合せることにより、複数のIPアドレスを対象とすることができます。

[発信情報] で以下の項目を指定します。

- 送信認証情報
 - 送信認証ID プロバイダAから提示された内容
 - 認証パスワード プロバイダAから提示された内容

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

5. [更新] ボタンをクリックします。

「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。

6. ISP-Aの優先順位が「1」でない場合は、移動先の優先順位に「1」を入力し[移動] ボタンをクリックします。すでに優先順位が「1」になっている場合は、手順8.へお進みください。

こんな事に気をつけて

接続先には優先度があるため、マルチルーティングの設定をしない接続先の優先度を高くすると、優先度の低いマルチルーティング設定は無効となります。接続先の優先順位に気をつけてください。

7. [NAT 情報] で以下の項目を指定します。

- NATの使用 マルチ NAT

補足 このマルチ NAT は、動的 NAT を意味します。

☛ 参照 「マルチ NAT 機能 (アドレス変換機能) を使う」(P.356)

8. [更新] ボタンをクリックします。
「相手情報設定」ページに戻ります。
9. [更新] ボタンをクリックします。
10. [設定反映] ボタンをクリックします。
設定した内容が有効になります。

ヒント

「ソースアドレスルーティング機能」を使うとき、IPアドレスの割り当てはどうするの？

「DHCPサーバ機能」を利用すると、DHCPサーバは未使用のIPアドレスを要求のあったパソコンに順次割り当てていきます。このため、パソコンのIPアドレスが変わることがあります。

ところで、本装置がサポートしている「IPフィルタリング機能」、「静的NAT機能」、「マルチルーティング機能」などは、パソコンのIPアドレスが常に固定されていないと使いにくい場合があります。そこで、これらの機能を使用しながら本装置のDHCPサーバも利用できるように、「DHCPスタティック機能」が用意されています。

LAN (Ethernet) で通信する機器にはMACアドレスという固有のアドレスが設定されています。MACアドレスは世界中で絶対に重複しないように管理されているため、この値から機器を特定できるのです。

■ 参照 「DHCPスタティック機能を使う」(P.355)

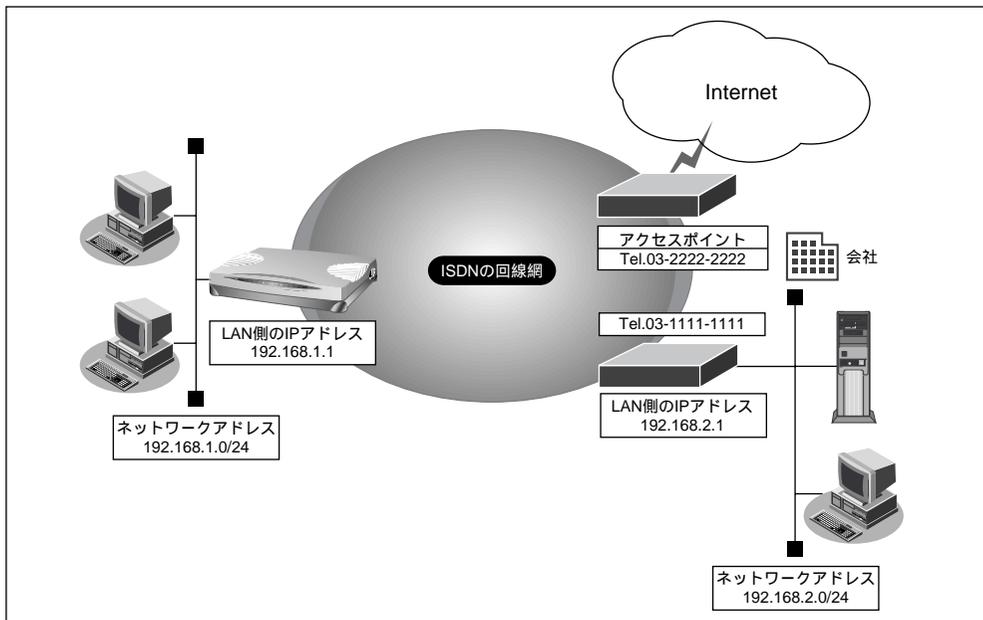
インターネットとLANに同時接続する

ISDNのBチャンネルを2つ使うと、インターネットとLANをシームレスに使えます。ここでは、インターネットでWWWを利用しながら会社のLANにも接続する場合を例に説明します。

こんな事に気をつけて

この例は、ご購入時の状態からの設定例です。以前の設定が残っていると、設定例の手順で設定できなかったり手順どおり設定しても通信できないことがあります。

☞ 参照 「ご購入時の状態に戻すには」(P.554)



設定条件

- ISDN回線を使用する
- 新規にLANを構築する
- プロバイダには端末型ダイヤルアップ接続する

接続先の電話番号 : 03-2222-2222

ユーザ認証ID : tokyoid

ユーザ認証パスワード : tokyopass

DNSサーバ : 192.10.10.10

- 会社にはネットワーク型ダイヤルアップ接続を行う

会社のルータが接続されている電話番号 : 03-1111-1111

送信認証ID / 送信認証パスワード : officeid、officepass

こんな事に気をつけて

文字入力フィールドでは半角文字(0~9、A~Z、a~z、および記号)だけを使用してください。ただし、空白文字、「」、「<」、「>」、「&」、「%」は入力しないでください。入力した場合、ブラウザでの設定が不可能となります。
詳細については、「付録 文字入力フィールドに入力できる文字一覧(P600)」を参照してください。

かんたん設定でインターネット接続の設定を行う

1. かんたん設定でインターネットへの「ISDN 接続」をクリックします。

「かんたん設定(インターネットへISDN 接続)」ページが表示されます。

2. [必須設定] で以下の項目を指定します。

- 接続先の電話番号 03-2222-2222 (プロバイダから提示された内容)
- ユーザ認証ID tokyoid (プロバイダから提示された内容)
- ユーザ認証パスワード tokyopass (プロバイダから提示された内容)

[必須設定] ISDN	
接続先の電話番号	03-2222-2222
ユーザ認証ID	tokyoid
ユーザ認証パスワード	*****

[オプション設定] で以下の項目を指定します。

- DNS サーバ 192.10.10.10 (プロバイダから提示された DNS サーバの IP アドレス)
- 接続ネットワーク名 internet (接続するネットワークの名称)
- 接続先名 ISP-1 (プロバイダの名称)

[オプション設定] ISDN	
Si-R30のIPアドレス	192 . 168 . 1 . 1
ネットマスク	24 (255.255.255.0)
DNSサーバ	<input checked="" type="checkbox"/> 自動取得 192 . 10 . 10 . 10
接続先の電話番号2	
接続先の電話番号3	
無通信監視タイム	60 秒
課金単位時間	0 秒
接続ネットワーク名	internet
接続先名	ISP-1
MP	<input type="radio"/> 使用する(手動) <input type="radio"/> 使用する(自動) <input type="radio"/> 使用しない
テレホーダイ	<input type="radio"/> 使用する(手動) <input type="radio"/> 使用する(自動) <input type="radio"/> 使用しない
かんたんフィルタ	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない

3. [設定終了] ボタンをクリックします。

設定した内容が有効になります。

接続先の情報を設定する

1. 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。

「相手情報設定」ページが表示されます。

2. [ネットワーク情報一覧] で [追加] ボタンをクリックします。

「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。

3. [基本情報] で以下の項目を指定します。

- ネットワーク名 kaisya (接続するネットワークの名称)
- 自動ダイヤル する

[基本情報]	
ネットワーク名	kaisya
ヘッダ圧縮	<input checked="" type="checkbox"/> VJ
WAN側IPアドレス	<input type="radio"/> 設定しない <input type="radio"/> 設定する 相手IPアドレス <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> 自側IPアドレス <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
MTUサイズ	1500 バイト
自動ダイヤル ISDN	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない

[NAT 情報] で以下の項目を指定します。

- NAT の使用 使用しない

[NAT情報]	
NATの使用	<input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> NAT <input type="radio"/> マルチNAT

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

4. [接続先一覧] で [追加] ボタンをクリックします。

「このページの情報が変更されています。更新しますか?」というメッセージが表示されたら [OK] ボタンをクリックします。

「接続先情報設定」ページが表示されます。

5. [基本情報] で以下の項目を指定します。

- 接続先名 office (接続先の名称)
- ダイヤル1
電話番号 03-1111-1111 (接続先の電話番号)

[基本情報]	
接続先名	office
ダイヤル1	電話番号 03-1111-1111
	サブアドレス
	相手種別 ISDN

[発信情報] で以下の項目を指定します。

- 送信認証情報
送信認証 ID officeid
認証パスワード officepass

[発信情報]	
送信認証情報	送信認証ID officeid
	認証パスワード *****

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

6. [更新] ボタンをクリックします。

「ネットワーク情報設定」ページに戻ります。

7. [スタティックルーティング情報一覧] で [追加] ボタンをクリックします。

「ルーティング情報設定」ページが表示されます。

8. 以下の項目を指定します。

- ネットワーク ネットワーク指定
宛先 IP アドレス 192.168.2.0 (接続先のネットワークアドレス)
宛先ネットマスク 24 (接続先のネットマスク)
- メトリック値 1

ネットワーク	<input type="radio"/> デフォルトルート
	<input checked="" type="radio"/> ネットワーク指定
	宛先IPアドレス 192.168.2.0
	宛先アドレスマスク 24 (255.255.255.0)
メトリック値	1

9. [更新] ボタンをクリックします。
「ネットワーク情報設定」ページに戻ります。
10. [更新] ボタンをクリックします。
「相手情報設定」ページに戻ります。
11. [更新] ボタンをクリックします。
12. [設定反映] ボタンをクリックします。
設定した内容が有効になります。

こんな事に気をつけて

- 本装置のIPアドレスを変更した場合、再起動後に本装置にアクセスするためには、URLを変更する必要があります。また、パソコン側の設定変更および再起動を行ってください。
 - 会社LAN上のホスト名の名前解決を行う場合は、ProxyDNSの設定が必要です。
-

☛ 参照 「DNSサーバを使いこなす (ProxyDNS)」(P.344)

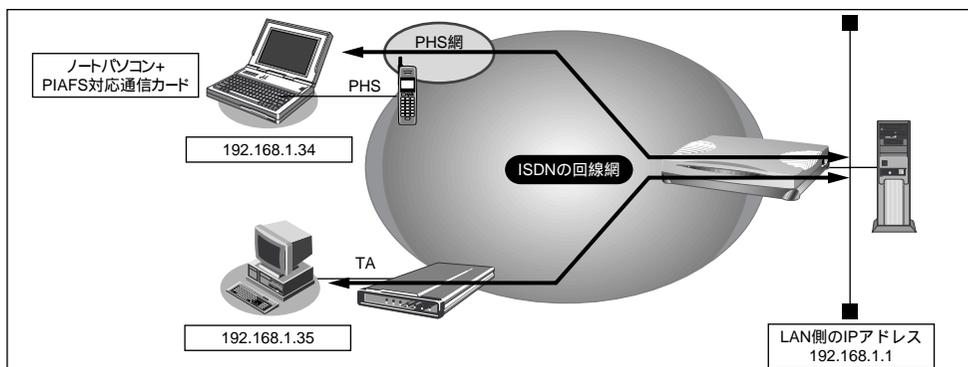
外部のパソコンと接続する (TA&PHS)

ここでは、ISDN回線経由で外部から本装置への着信接続とLAN側から外部のパソコンへの発信接続を許可した接続形態の場合を例に説明します。

こんな事に気をつけて

この例は、ご購入時の状態からの設定例です。以前の設定が残っていると、設定例の手順で設定できなかったり手順どおり設定しても通信できないことがあります。

☛ 参照 「ご購入時の状態に戻すには」(P.554)



設定条件

- 本装置のLAN側のネットワークアドレス/ネットマスク：192.168.1.0/24

[ノートパソコン + PHS (NTT DoCoMo)]

- 割り当て IP アドレス : 192.168.1.34
- 電話番号 : 070-1234-5678
- PHS 通信速度 : 64Kbps
- 送信認証 ID : phsid
- 送信認証パスワード : phspass
- 受諾認証 ID : mobileid
- 受諾認証パスワード : mobilepass

[パソコン + TA]

- 割り当て IP アドレス : 192.168.1.35
- 電話番号 : 03-1234-5678
- 送信認証 ID : homeid
- 送信認証パスワード : homepass
- 受諾認証 ID : sohoid
- 受諾認証パスワード : sohopass

☛ 参照 「外部のパソコンから着信接続する (アクセスサーバ機能)」(P.364)



本装置のLAN側のネットワークと同一のネットワークアドレスを別ネットワークのパソコンに割り当てることによって、Proxy ARPが自動的に動作し、ISDN回線経由で接続されたパソコンがLAN上に存在するように扱えます。



Proxy ARPとは

Ethernet上で通信する場合、相手を識別するためにMACアドレスが使用されます。このとき、IPアドレスとMACアドレスの対応付けを行う手段としてARP (Address Resolution Protocol) が使用されます。

ブロードキャストでARP要求を発行することにより、LAN上で自分のIPアドレスに関連するARP要求であると認識したパソコンは、自分のMACアドレスを送り返します。

Proxy ARPとは、パソコンから送られてくるARP要求に対して、実際のパソコンの代わりに応答する機能です。

こんな事に気をつけて

文字入力フィールドでは半角文字 (0 ~ 9、A ~ Z、a ~ z、および記号) だけを使用してください。ただし、空白文字、「"」、「<」、「>」、「&」、「%」は入力しないでください。入力した場合、ブラウザでの設定が不可能となります。

詳細については、「付録 文字入力フィールドに入力できる文字一覧 (P.600)」を参照してください。

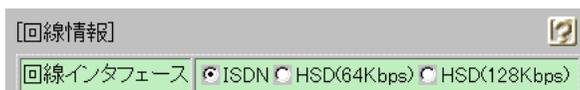
回線情報を設定する

1. 詳細設定メニューのルータ設定で「回線情報」をクリックします。

「回線情報設定」ページが表示されます。

2. [回線情報] で以下の項目を指定します。

- 回線インタフェース ISDN



3. [更新] ボタンをクリックします。

接続先情報（ノートパソコン + PHS）を設定する

1. 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。

「相手情報設定」ページが表示されます。

2. [ネットワーク情報一覧] で [追加] ボタンをクリックします。

「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。

3. [基本情報] で以下の項目を指定します。

- ネットワーク名 outside（接続するネットワークの名称）
- WAN側IPアドレス 設定する
 - 相手IPアドレス 192.168.1.34
 - 自側IPアドレス 192.168.1.1
- 自動ダイヤル する

[基本情報]	
ネットワーク名	outside
ヘッダ圧縮	<input checked="" type="checkbox"/> VJ
WAN側IPアドレス	<input type="radio"/> 設定しない <input checked="" type="radio"/> 設定する 相手IPアドレス 192 . 168 . 1 . 34 自側IPアドレス 192 . 168 . 1 . 1
MTUサイズ	1500 バイト
自動ダイヤル ISDN	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない

[NAT 情報] で以下の項目を指定します。

- NAT の使用 使用しない

[NAT情報]	
NATの使用	<input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> NAT <input type="radio"/> マルチNAT

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

4. [接続先一覧] で [追加] ボタンをクリックします。

「このページの情報が変更されています。更新しますか?」というメッセージが表示されたら [OK] ボタンをクリックします。

「接続先情報設定」ページが表示されます。

5. [基本情報] で以下の項目を指定します。

- 接続先名 PHS (接続先の名称)
- ダイヤル1
 - 電話番号 070-1234-5678
 - 相手種別 64kPIAFS (NTT DoCoMo方式)

[基本情報]	
接続先名	PHS
ダイヤル1	電話番号 070-1234-5678
	サブアドレス
	相手種別 64kPIAFS(NTT DoCoMo方式)

こんな事に気をつけて

PIAFS64Kbpsを使用する場合、発信側からサブアドレスを発信しても通知されないため、着信時の接続先情報でサブアドレスを指定しても無効となります。

[発信情報] で以下の項目を指定します。

- 送信認証情報
 - 送信認証 ID phsid
 - 認証パスワード phspass

[発信情報]	
送信認証情報	送信認証ID phsid
	認証パスワード *****

[着信情報] で以下の項目を指定します。

- 着信許可 する
- 受諾認証情報
 - 認証 ID mobileid
 - 認証パスワード mobilepass

[着信情報]	
着信許可	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない
受諾認証情報	認証ID mobileid
	認証パスワード *****

[発信者番号識別による着信情報] で以下の項目を指定します。

- 発信者番号による識別 番号チェックをする

[発信者番号識別による着信情報]		
発信者番号による識別	<input checked="" type="radio"/> 番号チェックをしない	<input type="radio"/> 番号チェックをする

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

6. [更新] ボタンをクリックします。

「ネットワーク情報設定」ページに戻ります。

接続先情報 (パソコン + TA) を設定する

1. 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。

「相手情報設定」ページが表示されます。

2. [ネットワーク情報一覧] で [追加] ボタンをクリックします。

「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。

3. [基本情報] で以下の項目を指定します。

- ネットワーク名 home (接続するネットワークの名称)
- WAN側IPアドレス 設定する
 - 相手IPアドレス 192.168.1.35
 - 自側IPアドレス 192.168.1.1

- 自動ダイヤル する

[NAT 情報] で以下の項目を指定します。

- NATの使用 使用しない

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

4. [接続先一覧] で [追加] ボタンをクリックします。

「このページの情報が変更されています。更新しますか?」というメッセージが表示されたら [OK] ボタンをクリックします。

「接続先情報設定」ページが表示されます。

5. [基本情報] で以下の項目を指定します。

- 接続先名 TA (接続先の名称)
- ダイヤル1
 - 電話番号 03-1234-5678
 - 相手種別 ISDN

[発信情報] で以下の項目を指定します。

- 送信認証情報
送信認証 ID homeid
認証パスワード homepass

[着信情報] で以下の項目を指定します。

- 着信許可 する
- 受諾認証情報
認証 ID sohoid
認証パスワード sohopass

[発信者番号による着信識別] で以下の項目を指定します。

- 発信者番号による識別 番号チェックをする
- 必要に応じて上記以外の項目を設定します。

6. [更新] ボタンをクリックします。
「ネットワーク情報設定」ページに戻ります。
7. [更新] ボタンをクリックします。
「相手情報設定」ページに戻ります。
8. [更新] ボタンをクリックします。
9. [設定反映] ボタンをクリックします。
設定した内容が有効になります。

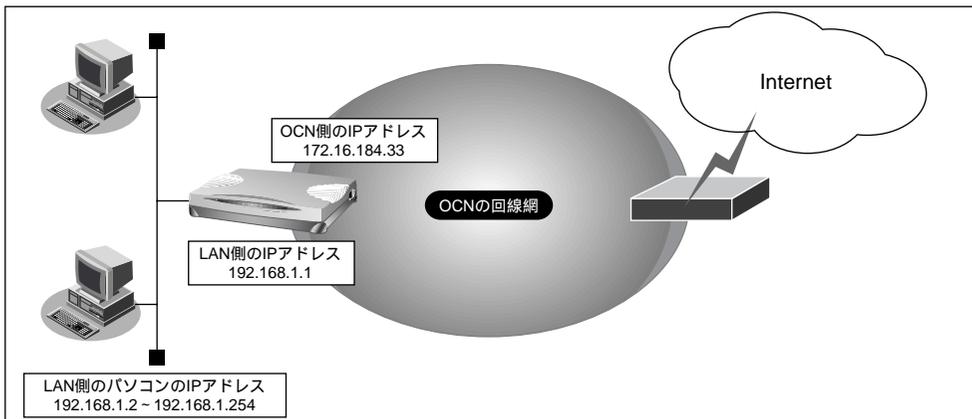
OCNエコノミーと接続する

ここでは、OCNエコノミーと接続する際に、LAN側に接続されたパソコンの台数が割り当てられたIPアドレスより多い場合を例に説明します。パソコンの台数が割り当てIPアドレス以下の場合については、「かんたん設定」で設定する（インターネットへ専用線接続のとき）(P.80)を参照してください。

こんな事に気をつけて

この例は、ご購入時の状態からの設定例です。以前の設定が残っていると、設定例の手順で設定できなかったり手順どおり設定しても通信できないことがあります。

☛ 参照 「ご購入時の状態に戻すには」(P.554)



設定条件

- OCNエコノミー（専用線：128Kbps）を使用する
- OCN側のDNSサーバを使用する : 192.10.10.10
- OCNより提示されたドメイン名 : domain.ocn.ne.jp
- 接続されたパソコンの台数が割り当てられたIPアドレス（5+1）よりも多い（253+1）

[OCN側]

- ネットワークアドレス : 172.16.184.32/29
- 本装置のIPアドレス : 172.16.184.33
- ホストアドレス : 172.16.184.33 ~ 172.16.184.38
- ブロードキャストアドレス : 172.16.184.39

[LAN側]

- ネットワークアドレス : 192.168.1.0/24
- 本装置のIPアドレス : 192.168.1.1
- パソコンのIPアドレス : 192.168.1.2 ~ 192.168.1.254

こんな事に気をつけて

文字入力フィールドでは半角文字（0～9、A～Z、a～z、および記号）だけを使用してください。ただし、空白文字、「」<、「>、「&」、「%」は入力しないでください。入力した場合、ブラウザでの設定が不可能となります。
詳細については、「付録 文字入力フィールドに入力できる文字一覧（P600）」を参照してください。

かんたん設定で専用線接続の設定を行う

1. かんたん設定でインターネットへの「専用線接続」をクリックします。

「かんたん設定（インターネットへ専用線接続）」ページが表示されます。

2. [必須設定] で以下の項目を指定します。

- Si-R30のIPアドレス 192.168.1.1
- ネットマスク 24
- 使用する回線速度 128Kbps
- DNSサーバ 192.10.10.10（OCNより提示された内容）

[必須設定]	
Si-R30のIPアドレス	192 . 168 . 1 . 1
ネットマスク	24 (255.255.255.0)
使用する回線速度	<input type="radio"/> 64Kbps <input checked="" type="radio"/> 128Kbps
DNSサーバ	192 . 10 . 10 . 10

[オプション設定] で以下の項目を指定します。

- 接続ネットワーク名 接続するネットワークの名称
- ドメイン名 domain.ocn.ne.jp（OCNより提示されたドメイン名）
- アドレス変換 マルチ NAT
- グローバルアドレス 172.16.184.34（アドレス変換でパソコンに割り当てる連続したIPアドレスの先頭）
- アドレス個数 5（連続したグローバルアドレスの個数）



この例ではOCNより割り当てられるIPアドレスは8個です。そのうちネットワークアドレス（1個）、ブロードキャストアドレス（1個）、本装置のIPアドレス（1個）を除いた5個がパソコンに割り当てることのできるIPアドレスとなります。

3. [設定終了] ボタンをクリックします。
再起動後に、通信できる状態になります。

アドレス変換情報を設定する



OCN サポートから本装置に向かってPINGのテストを行う場合があるため、本装置にはグローバルアドレスを割り当てておく必要があります。

1. 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。
「相手情報設定」ページが表示されます。
2. [ネットワーク情報一覧] でかんたん設定で設定したネットワーク名の欄の [修正] ボタンをクリックします。
「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。
3. 「静的 NAT 情報一覧」で [追加] ボタンをクリックします。
「静的 NAT 情報設定」ページが表示されます。
4. 以下の項目を指定します。

• プライベート IP 情報	
IP アドレス	192.168.1.1
ポート番号	すべて
• グローバル IP 情報	
IP アドレス	172.16.184.33
ポート番号	すべて

 こんな事に気をつけて

- 本装置のIPアドレスを変更した場合、再起動後に本装置にアクセスするためには、パソコンの再起動およびURLを変更する必要があります。
 - 動的NATと静的NATが混在する場合、動的NATで使用するIPアドレスと静的NATで使用するIPアドレスは重複しないようにしてください。
-

5. [更新] ボタンをクリックします。
「ネットワーク情報設定」ページに戻ります。
6. [更新] ボタンをクリックします。
「相手情報設定」ページに戻ります。
7. [更新] ボタンをクリックします。
8. [設定反映] ボタンをクリックします。
設定した内容が有効になります。

 こんな事に気をつけて

ネットワーク型接続でマルチNATを使用する際には、グローバルアドレスの設定が必須となります。なお、端末型接続では、接続時にグローバルアドレスが割り当てられるため、設定は不要です。

ログインパスワードを設定する

 こんな事に気をつけて

OCNエコノミーを使用する場合、本装置にグローバルIPアドレスを割り振られtelnetなどで接続が可能となるため、ログインパスワードを設定してアクセスを制限しなくてはなりません。

1. 詳細設定メニューのルータ設定で「パスワード情報」をクリックします。
「パスワード情報設定」ページが表示されます。
2. 以下の項目を指定します。
 - 新しいログインパスワード himitu
 - ログインパスワードの確認 himitu

新しいログインパスワード	*****
ログインパスワードの確認	*****

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

3. [更新] ボタンをクリックします。
設定した内容が有効になります。